

## 広報センターイベントで陸上自衛隊化学学校を見学

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 野田3海佐）は1月29日（火）募集対象者2名とともに神奈川地方協力本部広報センターイベントに参加した。

イベントの内容は大宮駐屯地に所在する陸上自衛隊化学学校の見学で、ブリーフィング、広報資料館及び施設見学、駐屯地食堂での体験喫食、化学科装備品展示が行われた。

広報資料館見学では、陸上自衛隊の保有する歴史的な資料を目にし、施設見学では、除染訓練等を実施する場所の見学ができ、参加者は興味津々の様子で化学学校の教官に質問をしていた。

装備品展示では、化学防護車、NBC偵察車などの車両が展示され、除染車3形による体験試乗では参加者は皆、寒風を吹き飛ばす興奮ぶりで歓喜していた。また、戦闘用防護衣や防護マスクを試着して隊員と記念写真を撮影するなど見学は盛況であった。

自衛官候補生として入隊を予定している参加者は、「普段の訓練の様子を知ることができて、とても安心しました。あと2ヶ月もしたら自衛隊の一員として勤務するのだと実感が湧いてきました」と笑顔で話してくれた。

31年度に受験を予定している参加者からは、「これまでいくつかの駐屯地を見学させて頂きましたが、知れば知るほど自衛隊で働きたいという想いが強くなってきます。必ず入隊して自衛隊で頑張りたいと思います。ありがとうございました」と頼もしい言葉を聞くことができた。

厚木募集案内所は、「今後も様々な機会を通じて自衛隊員の活躍する現場を多くの人に見て知ってもらおうことで、一人でも多くの志願者を獲得できるように募集活動に励んでいきたい」としている。



NBC偵察車の前で記念撮影をする参加者たち

## 「自治体への就職先拡大と連携強化」

### 平成30年度神奈川県自治体等就職推進連絡会同

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本貢祐）は、平成31年1月31日（木）、同地本において5回目となる「平成30年度神奈川県自治体等就職推進連絡会同」を開催した。

会同は、県内の自治体防災・危機管理職員と防衛省自衛隊関係者との間で意見交換を交わすことにより、相互の連絡・協力関係・退職自衛官の自治体への再就職の理解の強化を目的としたものであり、今年度は過去最多となる神奈川県及び県内23の自治体職員が参加した。

会同は、同地本長の挨拶から始まり、県及び県内各自治体への退職自衛官の就職状況、自治体における防災・危機管理への取り組み説明のほか、防衛大学校教授による「気象災害について」の講演が行われ、参加者からは「自衛隊及び自治体の防災・危機管理に対する取り組みを知ることができた」「退職自衛官を採用したい」など今後の防災対策に更なる取り組み及び強化を踏まえた意見を聞くことができた。

同地本においては、「県及び県内自治体との連携の強化及び退職自衛官の自治体への雇用拡大のため、今後もこのような情報交換の場を設けていきたい」としている。



平成30年度神奈川県自治体等就職推進連絡会同の様子